

2021年度 学校関係者評価委員会

日時	2022年3月28日(月) 13:00~15:00	場所	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 トラベルサロンより ZOOM にて実施	進行	岩崎
				議事	槍崎
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・横山 隆 (株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマーレ 総支配人/販売促進統括部長) ・小亀 さおり (地域) ・岩崎 正佳 (両総観光株式会社 営業課課長) 				
<p><学校職員> *オブザーバー参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢口 博士 (校長/本部長) ・槍崎 さやか (広報学務室室長) 					
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度重点方針 2. 2020年度自己評価 				
議事録	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度重点方針 <ul style="list-style-type: none"> 中長期的将来を見据え、今まで実行してきたこと全てを踏襲するだけでなく、他校研究を行い学修成果の向上、見直し・新たな取り組みを進める。教職員も学生の手本となるよう意識を持っていく。 専門教育の更なる充実、教職員が主体性を持ち、互いが認め合い、人の良いところを見て成長する1年とする。 2. 2020年度自己評価 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育理念・目標について <ul style="list-style-type: none"> 4：理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。【評価 3→3】 →特色化の一つとして企業との連携があるが、コロナ禍で企業実習をはじめ今までのような連携した活動は困難であった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">学校関係者からの質問・意見</div> <ul style="list-style-type: none"> 4：理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。 委員：コロナ禍での実習運営はどのように行ったのか。 学校：時期の変更、シティではなくリゾートをメインとするなど柔軟に対応した。 (2) 学校運営について <ul style="list-style-type: none"> 8：情報システム化等による業務の効率化が図られているか。【評価 3→3】 →課題として出欠・成績管理について、解決につながる可能性のあるシステムの導入に向けた動きが開始された。今後導入に向け次年度学内で検証を進める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">学校関係者からの質問・意見</div> <p>特になし</p> (3) 教育活動について <ul style="list-style-type: none"> 7：授業評価の実施・評価体制はあるか。【評価 3→3】 →学生は講師・授業を評価する「授業改善アンケート」を実施、講師は自らの授業運営等を評価する「授業評価報告書」を提出する形となっている。ハード面の要望などから順次改善を行っている。今後はソフト面も順次対応を進めていく。 9：成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。【評価 3→4】 →再評価制度を変更し運用を開始。補講についても適切な運用をしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">学校関係者からの質問・意見</div> <ul style="list-style-type: none"> 7：授業評価の実施・評価体制はあるか。 委員：授業改善アンケートなど、回答内容に対して学校側で対応ができたものなどあれば、対応内容等を伝えていった方がよい。 13：関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか。 委員：研修について評価ポイントが2と低めだが、コロナ禍でオンライン研修も増えているため利用する 				

ことができるのではないか。

(4) 学修成果について

1：就職率の向上が図られているか。【評価 4→4】

→コロナにより採用活動が休止するなど大きな影響を受けた。志望業界の変更への対応や観光業界以外の求人も幅広く取り扱うなどして最善を尽くした。また、オンライン化への対応に注力した。今後も状況は不透明のため、多様な職種の求人情報を確保していく。

2：資格取得率の向上が図られているか。【評価 3→3】

→一部検定の中止・延期などがある状況であったが、学生の受験意欲は非常に高かった。今後も学年別に検定・資格取得の意義を伝え、意欲を高めていけるよう学年に応じた働きかけを行う。

学校関係者からの質問・意見

1：就職率の向上が図られているか。

委員：コロナ禍では他分野への就職も止むを得ない。学生は変化を恐れずに（他業種であっても）就職した企業で懸命に働き、（元々の希望）業界の復活時には観光業界に戻ってキャリアアップする道もあると考えてもらいたい。

2：資格取得率の向上が図られているか。

委員：資格取得の啓蒙はどのように行っているのか。

学校：1年生は就職活動に活かせるように、2年生はモチベーション維持の大切さと、学びが出来る学生時代を有効に過ごすよう伝えている。

(5) 学生支援について

1：進路・就職に関する支援制度は整備されているか。【評価 3→4】

→観光業界への就職が大変厳しい中で、就職希望者を全員就職させるべく他業種への斡旋等最善を尽くしたが、就職指導満足度は前年より数値を下げる結果となった。

10：社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。【評価 2→2】

→20年度をもって夜間部エアライン科・テーマパーク科・プライダル科の募集停止。これに伴い、経済的な理由で進学を諦めることがないよう、昼間学科での学び継続のためサポート体制を広く周知していく。

学校関係者からの質問・意見

2：退学率の低減が図られているか。

委員：中退率の低減に向けて尽力されている様子が見えが、引き留めるにあたり学生へ譲歩しすぎず、学校の理念を大切に取組んでいただきたい。

(6) 教育環境について

3：学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。【評価 3→3】

5：学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。【評価 2→2】

→コロナ禍で行事催行は学校にとっても初めての経験であり、運営判断が非常に難しかった。20年度は大半の行事を中止せざるを得なかった。またコロナ感染発覚時の連絡体制など発生ベースでの検討となった。今後は行事の催行可否のルールや、問題発生時の連絡ルートなど定めていく。

学校関係者からの質問・意見

4・5：防災、学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。

委員：防犯・防災（人災・天災）の対策は、学校だけでなく各人がしっかりと意識を持ち準備をしておく必要がある。

(7) 学生の受け入れ募集について

1：高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。【評価 4→3】

→コロナ禍で観光業界のマイナスイメージが広がっており、ステークホルダーである高校側に正しい情報を随時提供していくことが出来なかった。今後は、ステークホルダーである高校教員・保護者等へ定期的に業界の現況を説明する場面を作り、業界不安払拭に努める。

学校関係者からの質問・意見

特になし

(8) 財務について

1：学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。【評価 4→4】

→財務状況は安定している。ただし、21年以降、先行き不透明なコロナの影響による観光分野の学生減少への対策が急務である。この状況を踏まえ、教育効果を維持した上で、運営の効率化などを検討していく。

学校関係者からの質問・意見

特になし

(9) 法令等の遵守について

3：自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか。【評価 3→3】

4：自己評価結果を公表しているか。【評価 4→4】

→自己点検はチームで行っており、課題や改善方策など活発な意見交換ができるようになった。ただし、コロナ禍で実施時期が遅れてしまった。今後は評価（自己評価・学校関係者評価）について学内職員に外部研修を受講させる。

学校関係者からの質問・意見

2：学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか。

委員：個人情報保護に関する項目が3ポイントとなっているが、ここについては早急に4となるよう対策を取るべき。

(10) 社会貢献・地域貢献について

3：学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。【評価 3→3】

→オリンピック・パラリンピックボランティアについても積極的に参画方法を模索していたが、結果的に催行が延期された。コロナ禍で現状は少ないが、今後もボランティア情報などについて、学生に案内していく。

学校関係者からの質問・意見

3：学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。

委員：毎月第二土曜日に幕張の浜でビーチクリーン活動を行っている。是非学生も参加いただきたい。

(11) 国際交流について

1：留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか。【評価 4→3】

→コロナの影響で出入国制限が行われ、留学生は減少傾向となるため、中長期計画を策定し安定的な入学者確保を目指す。

3：留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。【評価 3→3】

→コロナ禍で留学生の慣習が感染予防対策と馴染まないことも多く、感染が広がった。これを受け、見回りなども行い、感染対策に相応しくない行為に関して指導を行った。

学校関係者からの質問・意見

特になし。

[補足] 委員会当日欠席の委員には後日自己点検表を送付し意見聴取を行う。